

CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市北園町PJ 新築工事	階数	地上5F
建設地	大阪府高槻市北園町	構造	RC造
用途地域	埋蔵文化財保有地(北園遺跡)、下水道敷地	平均居住人員	88人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年12月20日
敷地面積	1,051 m ²	作成者	永谷 万寿美
建築面積	515 m ²	確認日	2024年12月20日
延床面積	2,205 m ²	確認者	永谷 万寿美

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.2 ★★★★☆					
S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B+: ★★★★ B: ★★★ C: ★	30% 39 60% 46 80% 50 100% 36 100%超	30% 39 60% 46 80% 50 100% 36 100%超	30% 39 60% 46 80% 50 100% 36 100%超	30% 39 60% 46 80% 50 100% 36 100%超	30% 39 60% 46 80% 50 100% 36 100%超

2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質					
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)	
Q1のスコア = 3.2		Q2のスコア = 2.7		Q3のスコア = 2.7	
音環境	3.2	機能性	2.5	生物環境	2.0
温熱環境	3.0	耐用性	2.9	まちなみ	3.0
光・視環境	3.6	対応性	2.8	地域性	3.0
空気質環境					
LR 環境負荷低減性					
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
LR1のスコア = 4.4		LR2のスコア = 2.4		LR3のスコア = 3.0	
建物外皮の	5.0	水資源	2.2	地球温暖化	3.6
自然エネ	3.0	非再生材料の	2.4	地域環境	2.9
設備シス	5.0	汚染物質	3.0	周辺環境	2.7
効率的					

3 設計上の配慮事項					
整合 断熱等性能等級で等級4以上の取得などを行い、付加価値を設けた。			その他 特に無し		
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)	
特に無し		給排水配管の主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用とした。		特に無し	
LR1 エネルギー 断熱等性能等級で等級4以上を取得予定であり、高い断熱性能のある建築材を採用し建物の熱負荷抑制に配慮した。		LR2 資源・マテリアル 特に無し		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築-既存 2024V1.3

【建物概要】 建物名称		(仮称)高槻市北園町PJ 新築工事						
建設地		大阪府高槻市北園町						
用途／区分		集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B+			
①	CO2削減				4			
②	みどり・ヒート アイランド対策				3			
③	断熱性能				5			
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			5			
④	エネルギー消費性能				5			
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分			3			
	非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外			評価対象外			
⑤	自然エネルギー直接利用							
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱		
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス		
	エネルギー消費量の報告					対象外		
【評価項目】								
項目	評価内容					スコア		
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.6		
② みどり・ヒートアイランド対策						4		
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出				2.0	3		
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0			
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善				3.0			
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制				5.0	5		
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化				5.0	5		
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用				3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-		
その他								
先進的技術の導入			技術の名称		考慮事項			
特に配慮した事項								